

## 2010年度第1四半期業績の概況



**三菱自動車工業株式会社**

**2010年7月29日**

# 2010年度第1四半期業績サマリー【前年同期対比】

## 販売台数増加により、前年同期比で増収・損益改善

(単位: 億円、千台)

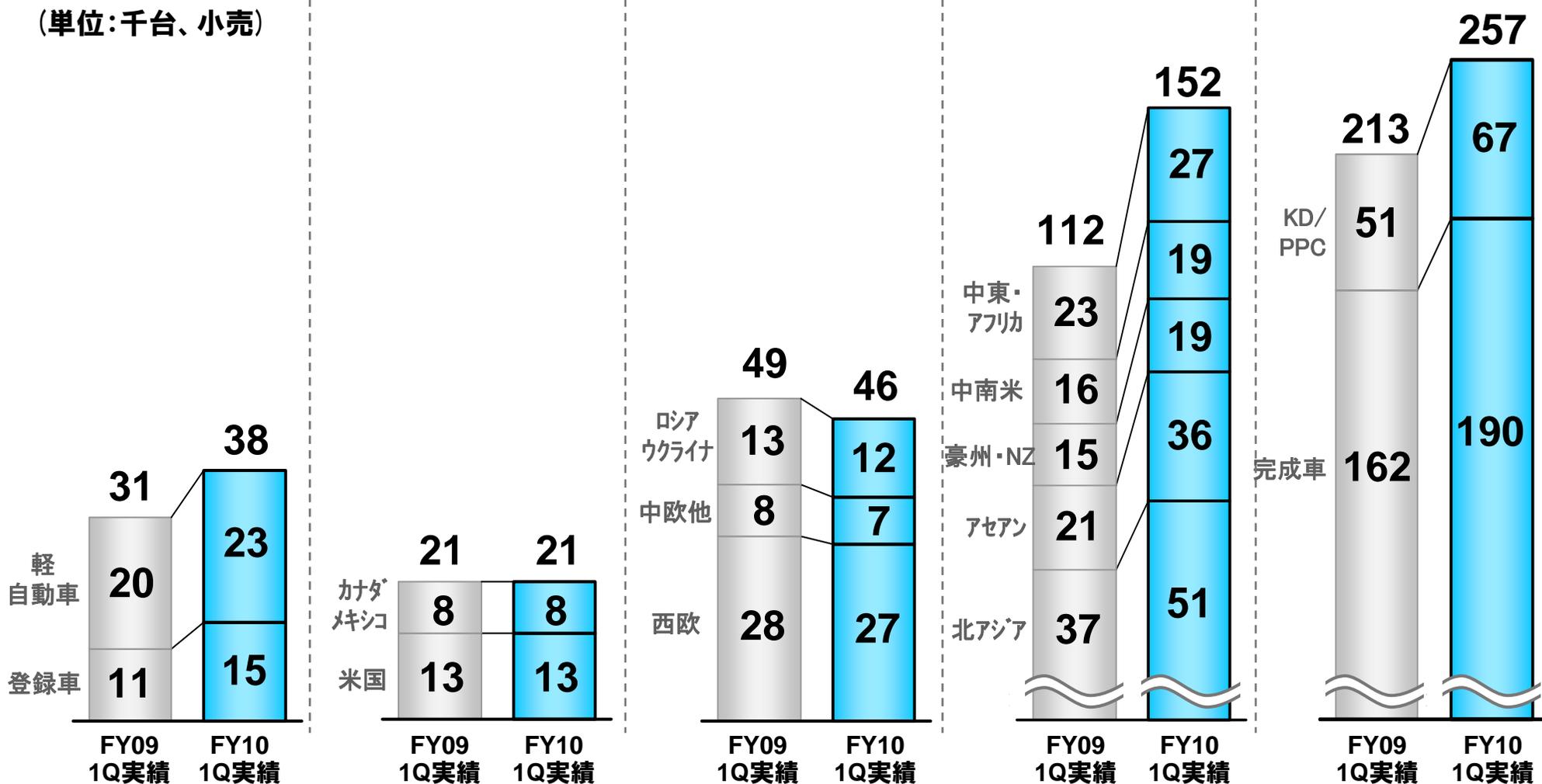
	FY09 1Q 実績①	FY10 1Q 実績②	差 ②-①	FY10 1H 4/27公表値
売上高	2,591	4,037	+1,446	8,500
営業利益	-296	-45	+251	50
経常利益	-278	-58	+220	0
当期利益	-264	-118	+146	-90
販売台数(小売)	213	257	+44	525
販売台数(卸売)	129	228	+99	478

注) 販売台数はOEM供給を除く。10年度第1四半期販売台数実績は速報値。

# 地域別販売台数実績【前年同期対比:小売ベース】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
《前年同期対比増減》 +7 (+22%)	±0 (±0%)	-3 (-6%)	+40 (+37%)	+44 (+21%)

(単位:千台、小売)



注) 販売台数はOEM供給を除く。10年度第1四半期販売台数実績は速報値。

# 営業利益増減分析【前年同期対比】

(単位: 億円)

FY09 1Q  
実績

+251億円

FY10 1Q  
実績

-296

+198

-2  
販売費

-5  
為替

+13  
資材費等  
コスト低減

+47

その他

-45

主な内訳

- ・国内子会社損益改善 +25
- ・一般経費他 +22

地域別

日本: +19  
北米: +17  
欧州: +17  
アジア他: +145

台数・車種  
構成等

売上レート (単位:円)

	'09 1Q	'10 1Q
米ドル:	97	93
ユーロ:	132	119
豪ドル:	72	84

# 經常利益・当期利益【前年同期対比】

(単位：億円)

	FY09 1Q 実績①	FY10 1Q 実績②	差 ②－①
営業利益	-296	-45	+251
営業外損益	+18	-13	-31
經常利益	-278	-58	+220
特別損益 及び法人税等	+14	-60	-74
当期利益	-264	-118	+146

主な内訳

・外国為替差損益 -35

主な内訳

・特別損益 -27

・法人税等 -47

# 貸借対照表【前年度末対比】

(単位：億円)

	FY09末 ('10/3月末)	FY10 1Q末 ('10/6月末)	増減
<b>資産合計</b>	<b>12,587</b>	<b>11,990</b>	<b>-597</b>
うち 現金預金	2,643	2,662	+19
売上債権	1,214	944	-270
たな卸資産	1,839	1,755	-84
<b>負債合計</b>	<b>10,242</b>	<b>9,893</b>	<b>-349</b>
うち 仕入債務	2,650	2,464	-186
有利子負債	3,927	3,787	-140
<b>純資産合計</b>	<b>2,345</b>	<b>2,097</b>	<b>-248</b>

## 2010年度1Q実績： 台数増加により、増収・損益改善

- 小売販売台数は、日本・アジア他の増加が牽引し、全体では前年同期比約 2割の増加。
- 卸売台数は、市場回復に伴い 4地域すべてで増加し、全体では前年同期比 7割強の増加。
- 売上高は、台数増加により前年同期比 5割強の増収。
- 損益項目(営業、経常、当期)は台数増加などにより前年同期比で改善。

## 2010年度見通し： 中間期・年度見通しともに期初公表どおり

- 第1四半期決算実績は概ね期初公表の計画線上市にて進捗しているものの、今後の為替動向、販売動向など経営環境を慎重に見極め 適切な対策を打ち、計画達成を目指す。
- 新型コンパクトクロスオーバー『ASX』：6月より欧州各国で順次販売を開始
- 『アウトランダー』の水島工場での補完生産：8月量産開始に向け計画通り準備中

# 添付資料

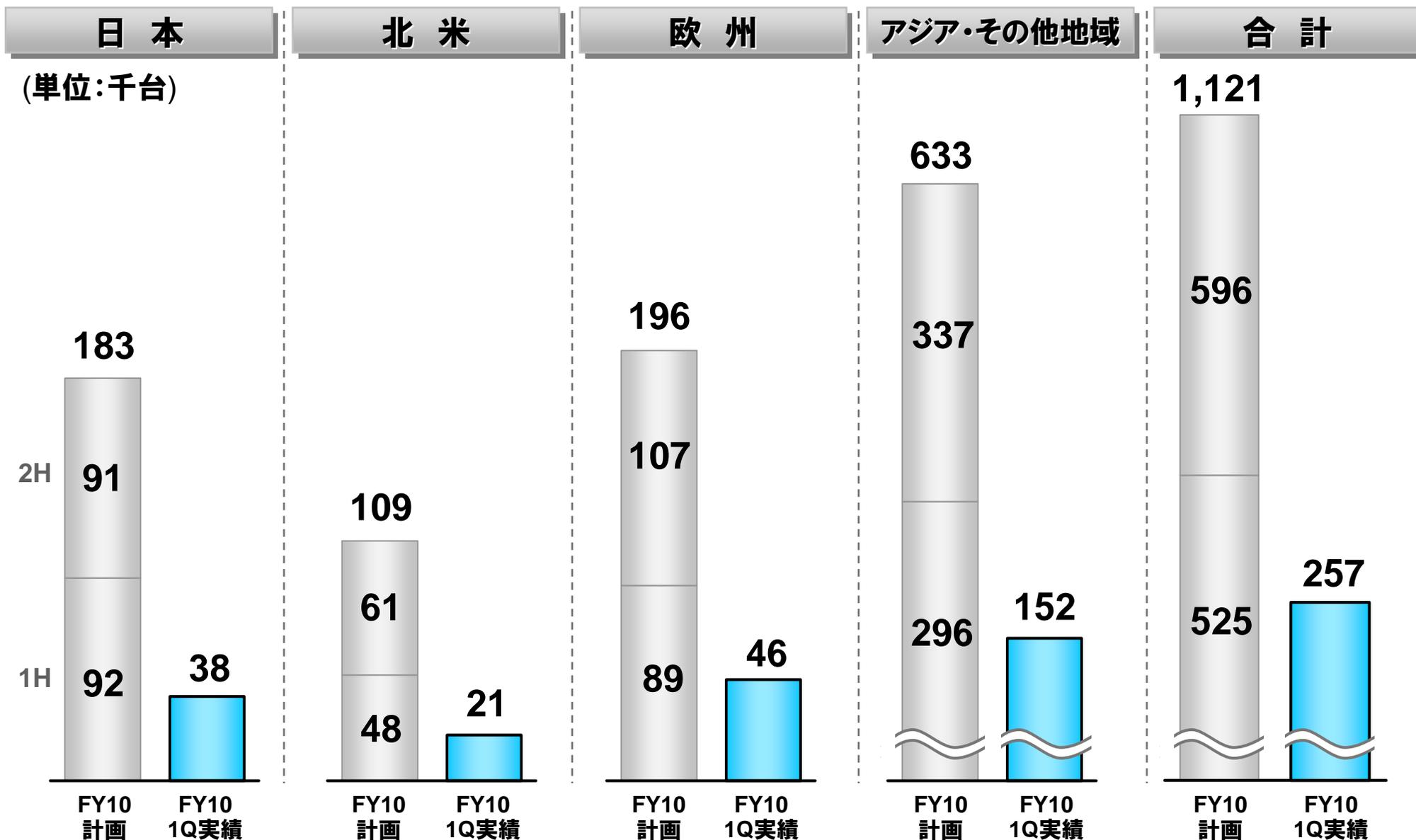


# 地域別業績【前年同期対比】

(単位: 億円)

	FY09 1Q	FY10 1Q	増減	(参考) FY10 上期 計画	(参考) FY10 通期 計画
	実績①	実績②	②-①		
<b>売上高</b>	<b>2,591</b>	<b>4,037</b>	<b>+1,446</b>	<b>8,500</b>	<b>19,000</b>
- 日本	736	824	+88	2,000	4,100
- 北米	317	393	+76	750	2,100
- 欧州	505	1,053	+548	2,200	4,900
- アジア・ その他	1,033	1,767	+734	3,550	7,900
<b>営業利益</b>	<b>-296</b>	<b>-45</b>	<b>+251</b>	<b>50</b>	<b>450</b>
- 日本	-89	-23	+66	10	60
- 北米	-93	-67	+26	-120	-270
- 欧州	-50	-102	-52	-110	-80
- アジア・ その他	-64	147	+211	270	740

# 地域別販売台数実績【計画対比:小売ベース】



注) 販売台数はOEM供給を除く。10年度第1四半期販売台数実績は速報値。

# 新世代電気自動車『i-MiEV(アイ・ミーブ)』の普及へ向けて

## 国内

4月から『i-MiEV』の個人向け販売を開始  
メンテナンスリースプラン7,000円/月など

『i-MiEV』がタクシーとして全国で活躍中  
松山、柏崎、岡山、京都、東京など

長崎県・五島列島へ『i-MiEV』を100台納車  
EV100台のパレードがギネス世界記録に認定



日の丸リムジンの「ゼロタクシー」(東京)



EVパレード(五島列島)

# 新世代電気自動車『i-MiEV(アイ・ミーブ)』の普及へ向けて

## 海外

5月、アイルランドでの電気自動車の実証試験に合意  
今後2年間に亘り、『i-MiEV』15台を使用して、電気自動車の普及に向けた実証試験を推進



覚書調印式後に開かれた発表会見

5月から香港で『i-MiEV』の個人向け販売を開始  
7月から豪州へ『i-MiEV』の出荷を開始



ダブリンの街中を行進する『i-MiEV』

6月、デンマーク政府と電気自動車の普及に関する覚書を締結

6月、PSA社\*と電気自動車に関する新たな業務提携  
小型商用車向けEVパワートレインの開発・供給に関する  
フィージビリティ・スタディを開始



メルビン デンマーク大使(右)と益子社長

\*PSAブジョー・シトロエン社

# エコカー減税対象車種の拡充

**電気自動車** 100%  
減税

**i MIEV**



**天然ガス自動車** *minicab*  
ミニキャブバン  
天然ガス自動車(特装車)



**COLT** 75%  
減税 **COLT PLUS**



Clean Air Edition (2WD)



Very (2WD)

**OUTLANDER**



20E (2WD)

**DELICA D:5**



G-Power (4WD)

**LANCER CARGO**



15G (2WD)

**GALANT FORTIS** SUPER EXCEED (2WD)



**GALANT FORTIS SPORTBACK** SPORT (2WD)



**RVR** 50%  
減税



G (2WD)

**i** Vivace (2WD)



**EK WAGON** GS (2WD)



**Toppo** M (2WD)





あなたとクルマの、「ずっと」のために。

「気に入ったモノと、長くつきあっていきたい」、そんな時代だから、  
三菱自動車は、お客様とクルマとの新しいつきあい方を提案します。  
基準は、1台の三菱車に、ずっと愛着を持って乗り続けていただくこと。

クルマ自体が「丈夫で長持ち」なことはもちろん、  
「1台のクルマをずっと好きでいる気持ち」を  
持ち続けていただくために愛着メニューをご用意しました。  
新しい時代に、まず三菱が、新しい一歩を踏み出します。

是非、お近くの三菱のお店へ。



最長 **10年10万km**  
特別保証延長 ※1 ※2

※1 本保証延長には適用条件があり、有償の点検整備が必要です。



**リフォーム**サービス



**愛着クーポン**



本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的风险や不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご留意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

Drive@earth



**MITSUBISHI MOTORS**